

# 患者の皆様へ

2020年12月22日

薬剤部

現在、薬剤部では抗菌薬の髄液移行性に関する検討を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2002年4月～2022年12月に抗菌薬による治療を受けられる細菌性髄膜炎の患者さんの診療情報や診療に用いた髄液あるいは定期採血の残液などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「細菌性髄膜炎患者に対する抗MRSA薬の髄液移行性に関する検討」

**2. 研究の意義・目的** 「細菌性髄膜炎の治療成功率の向上を目的として、抗MRSA薬の髄液移行性について検討する」

### 3. 研究の方法

診療に用いた髄液あるいは定期採血の残液を用いて抗MRSA薬の髄液中濃度および血中濃度を測定します。また、診療情報より得られた、血清クレアチニン値等の血液検査結果や髄液総細胞数・髄液総蛋白等の髄液検査結果および診療記載を用います。

### 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる棚で保管します。

### 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院薬剤部

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院薬剤部

薬剤師 石川雅之

043(222)7171 内線6500